

事業番号	11 08 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課	
		実施期間	S25 ~	E-mail	kenchiku @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

- ・2050ゼロカーボンに向けて、住宅分野における更なるCO2排出の削減が必要
- ・少子高齢化と人口減少の進展により、住宅ストックが量的に充足されている一方で、空き家の増加や住宅産業の後継者不足等の住宅施策上の諸問題が顕在化し、既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止、地域の住まいづくりを支える担い手確保に向けた取組等が求められている状況

### 2 事業目的

- ・省エネルギーへの配慮や豊富な森林資源を活用した住まいづくりの促進を図り、快適で健康な住まいの普及を通じて、2030年度までに「全ての新築住宅のZEH化」及び2050年度までに「住宅ストックの平均でゼロカーボン化」を目指す。
- ・人口減少社会に対応するため、空き家の適正な維持管理、移住・二地域居住の促進に資する既存住宅の有効活用、住まいづくりの担い手確保に向けた普及啓発や木造建築物の魅力の発信等に取り組み、多様な居住ニーズに応える魅力的な地域づくりを目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①住宅オールZEH化の促進
- ・2050ゼロカーボン達成に向けて、住宅分野においても更なる温室効果ガス排出削減をするため、「信州健康ゼロエネ住宅」への助成を実施
  - ・戸建て住宅の技術力等が不足する中小工務店もZEH対応が可能となるよう、講習会等により技術力・価格競争力を強化
- ②空き家の適正管理・利活用の促進
- ・増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため、市町村への専門家の派遣等により、技術的支援を実施
  - ・中古住宅の流通促進のため、既存住宅現況調査（インスペクション）費用等への補助を実施
  - ・移住者・子育て世帯の住まい確保のため、空き家の利活用の先進的取組の効果検証を行いながら、ひとづくりや仕掛けづくり、横展開可能なモデル事業の提案、市町村への助言といった取組の検討
- ③信州木のある暮らしの推進
- ・県産木材を活用した木造建築物の増加や担い手の確保を図るため、良質な木造建築物の表彰、中学校の授業へ大工技能者の派遣を実施

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	新築ZEH住宅への助成件数	件	175	253	↗	255	→	255	達成	新築住宅のZEH率100%に向けて、信州健康ゼロエネ住宅助成金によりZEHに誘導すべき件数を目標とする。	
②	空家等対策計画を策定した市町村の割合	%	79.2	85.7	↗	85.7	→	81.8	達成	長野県住生活基本計画において計画を策定した市町村割合の目標値である80%をR5年度末に達成見込みのため、R6年度はR4~R5年度の推移から目標値を設定する。	
③	新設住宅（持ち家）における木造在来工法の割合	%	76.9	76.2	↘	73.3	↘	75.0	未達成	長野県住生活基本計画において、木造在来工法の新築住宅（持ち家）の割合を75%と設定しているため。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況					目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆新築住宅におけるZEHの割合	%	—	2023 (R5)	62.1	2024 (R6)	69.0	2027 (R9)	90

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	407,644	0	407,644	226,953	387,130	6.0
R5年度	0	393,494	△ 68,941	351,337	178,648	311,940	5.0
R4年度	0	355,214	△ 101,988	253,226	123,349	211,949	5.0

事業番号	11 08 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	快適・安心すまいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課

## 7 主な取組実績と成果

### ①住宅オールZEH化の促進

- ・高い断熱性能を有し、信州の恵まれた自然環境と森林資源を活かし、地域内経済循環も考慮した快適で健康的な信州健康ゼロエネ住宅の普及を図るため、住まい手及びつくり手へ向けた情報発信を図るとともに、新築（255件）及びリフォーム（83件）への助成を実施
- ・県内工務店の技術力向上のため、ZEHの講習会（1回）を実施



環境に配慮した住宅

### ②空き家の適正管理・利活用の促進

- ・増加する空き家の適正管理と円滑な流通を促進するため、市町村へ専門家の派遣等（延べ41名）により、技術的支援を実施
- ・中古住宅流通促進のため、既存住宅現況調査費用（48件）及び既存住宅売買瑕疵保険料（2件）への補助を実施
- ・移住者・子育て世帯の住まい確保のため、空き家の利活用の先進的取組を公募（7組・11取組の応募あり）して、市町村等を対象にプレゼンテーションを実施



市町村への

### ③信州木のある暮らしの推進

- ・県産木材を活用した木造建築物の増加や担い手確保を図るため、優良な木造建築物の表彰、中学校の授業へ大工技能者の派遣を実施（延べ15クラス30人）



中学校への  
大工技能者派遣

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	変化	R6年度推移	変化	達成状況	結果
指標①	新築ZEH住宅への助成件数	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	達成
信州健康ゼロエネ住宅の一元的な情報発信等により、ZEH水準の住宅が増加したことから、目標を上回った。							
指標②	空家等対策計画を策定した市町村の割合	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	達成
地域連絡会における取組や専門家の派遣等により、市町村職員の理解度が深まり、体制構築がなされ、目標を上回った。							
指標③	新設住宅（持ち家）における木造在来工法の割合	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
木造のうち、ツーバイフォー工法による割合が増加したため、目標未達成となった。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・住宅分野のゼロカーボン達成に向けて、一層の温室効果ガス排出削減の取組が必要
- ・空き家が増加するなか、既存住宅の有効活用、空き家の適正管理の取組が必要
- ・県内の住宅の大半が木造住宅であるなか、大工技能者の減少及び高齢化が進んでおり、担い手確保・技術力の維持が必要

### (2) 事業改善の方策

- ・2050年の住宅ストック平均でのゼロカーボン達成するためには、既存ストックの省エネ化を進める必要があるため、信州健康ゼロエネ住宅助成金のリフォームに対する助成額を拡充するとともに、引き続き、施工者の技術力向上のための研修会の実施する。
- ・空き家が増加するなか、改正空家特措法を踏まえ、周囲に悪影響を及ぼす前の段階から有効活用や適切な管理なされるよう市町村が行う対策を支援するとともに、既存住宅状況調査等により中古住宅市場の円滑な流通を促進する。
- ・県内事業者の施工を対象とした助成事業、信州木のある暮らし推進事業により、地域住宅関連産業の体制強化と担い手確保を図る。

事業名	<b>快適・安心すまいづくり支援事業</b>	部局	建設部	課・室	建築住宅課
-----	------------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>1</b>	<b>住宅オールZEH化推進事業</b>	189,563 千円	305,386 千円	377,750 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州健康ゼロエネ住宅普及促進加速化事業	補助金委託	信州健康ゼロエネ住宅指針に適合する住宅の新築又はリフォームへの助成 信州健康ゼロエネ住宅の周知業務の委託 新築への助成 255件、リフォームへの助成 83件	
2	新築戸建て住宅オールZEH化推進事業	委託	オールZEH化に向けてボトルネックとなる技術力・価格競争力のない県内工務店等への普及啓発 ZEH講習会の開催	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>2</b>	<b>空き家適正管理・活用促進事業</b>	2,763 千円	2,215 千円	5,009 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	市町村空き家対策サポート事業	直接	セミナーの開催、専門家派遣により情報提供及び技術的な助言を行い、市町村が実施する空き家対策へ支援 空き家対策セミナーの開催 1回、市町村へ専門家の派遣 延べ41名	
2	あんしん空き家流通促進事業	補助金	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境を整備するため、既存住宅状況調査（インスペクション）費用及び既存住宅売買瑕疵保険料への補助 チラシ作成 4,000部、既存住宅状況調査 48件、既存住宅売買瑕疵保険料 2件	
3	「移住・子育てするなら長野県」すまい検討事業	直接	移住者・子育て世帯の住まい確保のため、空き家の利活用の先進的取組の効果検証を行いながら、ひとづくりや仕掛けづくり、横展開可能なモデル事業の提案、市町村への助言といった取組の検討会議の開催 検討会議 6回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
<b>3</b>	<b>信州木のある暮らし推進事業</b>	1,874 千円	1,599 千円	2,343 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	"信州の木"建築賞	直接	優れた木造建築物を表彰することで、木造建築物の魅力を広く発信し、木造建築物の普及と担い手を確保 建築賞の実施	
2	木造建築担い手育成啓発事業	直接	キャリア教育の一環として、中学校へ大工技能者を派遣 大工技能者派遣 延べ15クラス30人	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	住宅・建築施策推進		2,540 千円	2,740 千円	2,028 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新たな住宅セーフティネット普及事業	直接	市町村担当者（住宅及び福祉部局）、地域の福祉関係者、不動産関係者等による市町村居住支援協議会設立に向けた支援 勉強会の開催		
2	信州多様な住まい方推進事業	委託	豊かな自然や美しい景観、地域の歴史や文化に根差した信州らしい多様な住まい方を広く発信するため、情報発信サイトを運営 ホームページ管理運営業務委託		
3	ふるさと古民家再生支援事業	直接	古民家の安全・安心で魅力ある適切な活用等を図るため、専門家を派遣して建物の調査を行い、修繕・再生の可能性、維持管理方法等のアドバイスを実施 古民家調査 20件		